

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 5年 11月 7日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務(その2)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ・資料作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式 地震シミュレーションの実務適用に向けた検討・・・・・・・・1式→1式 地盤応答解析に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式 長大橋における耐震性評価・・・・・・・・・・・・・・・・0→1式 報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式
業務期間(自)	令和 5年 2月 28日
業務期間(至)	令和 6年 3月 15日
契約金額	42,075,000 円
変更金額	9,581,000 円 増
変更後の契約金額	51,656,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務（その2） 第1回変更

3. 2 業務内容

3. 2. 5 長大橋における耐震性能評価 【追加】

過年度の同種業務において、港大橋を対象に耐震補強時の設計地震動と道路橋示方書・同解説（以下、道示という）の標準波をそれぞれ入力し、道示標準波を入力した場合に大きなひずみが発生する部材があることが確認された。当該成果を関係部署と共有したところ、一部の部材の塑性化が橋梁全体系に及ぼす影響などについて確認したいとの追加依頼があった。本業務は、これまでに構築した3次元の阪神高速道路ネットワークモデルの実務適用等を目的として、地震シミュレーションの精度向上を図り、路線単位で想定される被害箇所や被害状況等の傾向を確認し、今後の耐震対策に資する検討を行う業務であり、（一財）阪神高速先進技術研究所は上記の検討成果もとりまとめた実績を有している。

以上のような状況を勘案し、港大橋を対象に既存の解析モデルを活用しつつ、一部の部材の塑性化が橋梁全体系に及ぼす影響を確認するためのモデル化・評価方法について検討し、橋梁全体での安全性照査、部材の安全性照査および地震後の使用性・修復性の照査を本業務に追加するものである。

【数量】

長大橋における耐震性評価

解析モデルの検証 0 → 1 式

モデル化・評価方法の検討 0 → 1 式

構造全体系・部材の安全性評価 0 → 1 式

以上